

令和3年4月の待機児童数調査のポイント

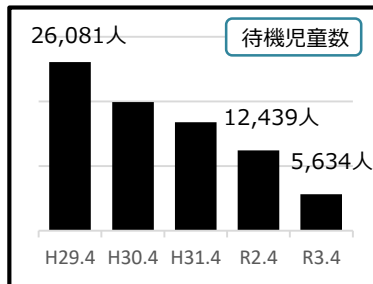
① 待機児童の状況

待機児童数：5,634人

(対前年▲6,805人)

※調査開始以来、
3年連続で最少

- ・ **8割超**の市区町村(1,429)で待機児童を解消
- ・ 待機児童数が**50人以上**の自治体は**20自治体**まで減少。



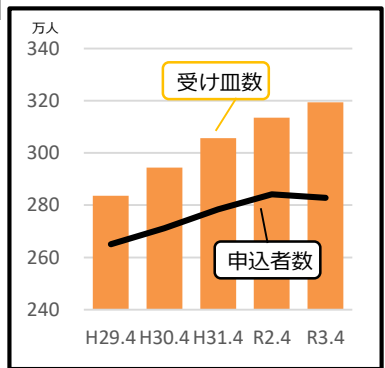
待機児童数別の自治体数の内訳

	0人	1~49人	50~99人	100人以上
R3年度	1,429 82.1%	292 16.8%	16 0.9%	4 0.2%
対前年	88	▲33	▲37	▲18
R2年度	1,341	325	53	22

② 待機児童数の減少要因

令和3年4月の待機児童数が減少した要因は、自治体調査によれば、

- ・ **保育の受け皿拡大**に加え、
- ・ **新型コロナウイルス感染症を背景とした利用控え**が考えられる。



③ 女性就業率の推移

- ・ **令和2年は減少**しているが、
 - ・ **令和3年は再び上昇**
- ⇒ 今後、**保育ニーズ(申込者数)**も再び増加する可能性があり、注視が必要。

就業率の対前年増減ポイント

月	女性・25~34歳			女性・35~44歳		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3
1月	0.5	0.8	1.7	0.9	0.8	0.1
2月	1.0	1.4	0.1	1.4	▲0.1	▲0.3
3月	0.6	1.7	0.4	0.6	▲0.5	0.5
4月	▲0.6	1.0	1.4	▲0.4	▲1.7	1.8
5月	0.6	1.3	0.8	▲0.1	▲1.2	1.2
6月	1.5	0.2	2.2	2.4	▲2.0	0.5
7月	1.6	▲2.2		1.2	▲1.5	
8月	2.1	▲2.1		1.0	▲1.4	
9月	1.3	▲2.4		1.5	▲0.5	
10月	1.3	▲0.9		1.8	0.7	
11月	1.1	2.5		2.1	▲0.6	
12月	1.9	0.8		1.2	▲0.3	

※ なお、子育て安心プラン(目標：H30-R2の間で32万人分)の受け皿拡大量(実績)は、足元の待機児童数がゼロとなり整備計画の縮小を行った自治体があったこと等から、結果的に約26万人分となっている。

今後の取組方針

- **新型コロナウイルス感染症の終息後**を見据え、令和3年度からスタートした「**新子育て安心プラン**」に基づき、待機児童解消のための取組を進めていく。
- 各年度ごとに、自治体における**待機児童の状況**や**保育の受け皿拡大量の見込み**などを確認しながら、必要な受け皿の確保が進むよう支援を行っていく。
- その際、待機児童がわずかとなっている自治体が多くなっていることや、人口減少が進む地域等を踏まえ、**マッチング支援の促進**を図るとともに、**幼稚園の空きスペースなどあらゆる子育て資源を活用**する。

令和3年4月調査における各自治体の保育の受け皿拡大量(見込み)

	令和3年度	令和4年度
受け皿拡大量	8.2万人	3.0万人
	令和5年度	令和6年度
受け皿拡大量	1.9万人	1.1万人

4か年合計

14.2万人

新プラン目標

約14万人